

愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校

2年 若狭 早

## 頭のイナズマ

ズキン、バリバリッ。頭のいたみに、ぼくはびっくりしました。いつもは元気いっぱいなのに、今は何もしたいと思えませんでした。ぼくは交通じこにあい、頭のほねがおれ、頭の中で出血してしまったのです。

きょ年の十二月、お絵かき教室からの帰り道。ぼくが自てん車で交差点をわたっていると……帰りをいそいでいる車にドン、とはねられました。ぼくは一メートルくらいとばされて、地めんにつたきつけられたのです。自てん車は車にまきこまれ、ガリガリけずられました。夕方五時すぎ、空はどんどん夜にむけてくらくする時間のことでした。

ぼくはヘルメットをかぶっていました。白と黒のかっこいいデザインで、これをかぶっているとよくほめられました。

「いいなあ、そのヘルメット。」

「レーザーみたいだね。」

ぼくのお母さんも、ぼうしと一体になったヘルメットをかぶっています。自てん車にのる時は、かならずヘルメット。それをずっとつづけていたから、車にはねられ頭をうって「線じょうこっせつ」ですんだそうです。頭のしゃしんには、ビリビリとイナズマのような線が入っていました。おいしゃさんから、

「ヘルメットがなければ、かんぼつこっせつ、のうざしょうなどになっていたかも知れないよ。それは今よりひどいじょうたいで、いのちにかかわるからね。」

とせつめいされて、ぼくはヘルメットの大切さがよく分かりました。

ぼくがいるえひめけんは、自てん車にのる人のヘルメット着用率が日本一です。けいさつの人がしらべたところ、えひめけんでは七わりの人が着用していたそうです。車と自てん車の交通じこで、大切ないのちがいくつもうしなわれたので、

「ヘルメットをかぶるのは、当たり前。」

このいしきが生まれたそうです。それなのに、着用率が一わりを切る場しょもまだあります。だからぼくは、ヘルメットでいのちがたすかったことを、これからたくさんの人につたえたいと思います。

交通じこにあった時、ぼくは自てん車のライトをつけ、はんしゃざいのついたふくを着ていました。右・左・右のかくにんもしていました。どんなに用心していても「まさか」はおこります。だからみなさん、ヘルメットをかぶりましょう。あんぜんとあん心の目じ

るし、S Gマークなどがポイントです。カッコいいデザイン、かわいいデザインのものもあります。いのちをまもるおまもりとして、ヘルメットをかぶりましょう。

今年の六月、ぼくはやっと頭のほねがくっつきました。ぼくの頭のイナズマは、これから二、三年かけてうすくなっていくそうです。ヘルメットがあって、本当によかったです。